



県内 NPO 法人の分布に差はある？

よくお受けする質問のひとつが「和歌山県内ではどの地域がNPO活動が活発なのか」というもの。NPOという言葉自体にはNPO法人のほか、ボランティア団体のように法人格を持たない団体も含まれますが、法人格を持たない団体の数は把握ができませんので、本稿では定量的に比較できるように、市町村ごとのNPO法人数を指標として比較を試みました。さて、その結果は…？



まんべんなく分布
左の地図は、今年8月末現在で和歌山県が認証しているNPO法人383団体について、事務所を置く市町村ごとに法人数をまとめたものです。最も多いのは和歌山市の166法人、少ないのは印南町、すさみ町、北山村の0法人となっています。

し活発に活動していましたが、現在は解散しています。それ以外のほとんどの町村にNPO法人が複数存在しており、法人は県内まんべんなく分布していることがわかります。なお、この図で示している法人数は登記上の事務所所在地で分類しているため、複数の市町村で活動している法人のように、活動範囲を正確に表したものではありませんので、その点はご了承ください。

人口あたりで見ると
右下の表は人口1万人あたりのNPO法人数上位10市町村の推移を今年、5年前、10年前と比較してみます。

活動内容は

ここ最近、町村部で新しく設立されたNPO法人の活動をみると、介護保険事業や障害者福祉事業、総合型地域スポーツクラブなど、従来は都市部が中心だった事業を町村部で展開しようとする団体が目立ちます。

人口1万人あたり法人数 TOP10 の推移

2013年	2018年	2023年
北山村 17.79	北山村 19.57	九度山町 8.44
田辺市 5.14	白浜町 7.16	高野町 7.24
和歌山市 4.47	田辺市 5.63	新宮市 6.96
由良町 3.98	那智勝浦町 5.22	那智勝浦町 5.97
新宮市 3.79	御坊市 5.07	田辺市 5.83
白浜町 3.67	和歌山市 4.92	串本町 5.72
すさみ町 3.63	すさみ町 4.88	御坊市 4.88
九度山町 3.47	新宮市 4.83	和歌山市 4.75
橋本市 3.28	九度山町 4.58	かつらぎ町 4.56
上富田町 3.27	串本町 4.27	古座川町 4.34

※ 各年8月末時点の法人数を元に算出。

和歌山県認証法人

合計 383 法人

1つの法人が県内に複数の登記上の事務所を置いている例、他府県や政令市が認証し和歌山県内にも登記上の事務所を置いている例はこの表の数字には含まれていません。

今後の見通し

現在も県内各地でNPO法人の新規設立を進める動きは続いている一方、長年運営してきた法人のなかには一定の役割を果たしたり、構成員の高齢化により事業継続が困難になったりといった理由で解散するケースも増加しています。ここ最近、新規設立と解散が相殺され、県内のNPO法人数はほぼ横ばいの状態が続いています。

今年にはNPO法人制度が創設されて25周年の節目の年。四半世紀が経過し、NPO法人制度が全体的に浸透し、わかつく322号で取り上げた通り経済規模も拡大が続いていますが、県内各地で「地域のために」と設立されるNPO法人を地域で支えていく仕組みづくりはなお必要と考えられます。(志場久起)



わかやま SDGs パートナーシップ 基金へのご寄附のお願い

みんなの力で SDGs 実現を！

国連で採択された「SDGs (持続可能な開発目標)」の達成には、世界のあらゆる国、あらゆる主体が参画することが求められています。ここ和歌山の地で、SDGs 達成に向けた取り組みを進める産・官・学・民の連携を進めるための基金「わかやま SDGs パートナーシップ基金」を運用しています。

今年度は、SDGs ゴール 14「海の豊かさを守ろう」、ゴール 15「陸の豊かさを守ろう」に向けて活動する県内の NPO・ボランティア団体を応援します。

事業の流れ

1. 本事業の趣旨に賛同いただいた和歌山県内外の個人・企業のみならず、1口3,000円でご寄附のご協力をお願いします。
昨年度は70組の方から合計224,000円のご協力をいただきました。
2. 集まったご寄附の額を元に助成事業枠を設定し、支援を希望するNPO・ボランティア団体の募集を行います。
昨年度は3万円×10団体=合計30万円の助成枠を設定し、募集を実施。36件のご応募をいただきました。
3. わかやま NPO センターが設置する審査委員会(外部委員を含みます)による審査をおこない、支援の優先度合いが高いと判断された団体に助成を実施します。
支援件数はご寄附の集約状況により変動しますが、今年度も3万円×10団体程度の支援を計画しています。

4. ご寄附いただいた方には、翌年1月頃に「寄附金受領証明書」をお送りします。確定申告により所得税等の控除が受けられます。

※ 来年の確定申告での控除の対象となるのは、今年12月末までにわかやま NPO センターに入金いただいたご寄附です。クレジットカードでの寄附は決済から入金まで時間がかかるため、来年の確定申告での控除をご希望の場合は、恐れ入りますが今年11月末日までに決済をお願いします。

5. 事業終了後、各助成先の取り組みを公開します。

ご支援の方法

- ▶ 1口3,000円から受け付けます。現金によるお支払いのほか、銀行振込(振込手数料はご負担ください)、クレジットカード決済(振込手数料はかかりません)がご利用いただけます。
- ▶ 次年度以降も継続してご支援いただける場合は銀行口座からの自動引落、クレジットカードからの継続決済のご利用が可能です。詳しくはお問い合わせください。
- ▶ 本基金へのご寄附は寄附金税制の対象となります。個人の方は確定申告により税額控除が、法人の方は損金算入限度額の引き上げが適用されます。

くわしくは専用ウェブサイトをご覧ください。クレジットカード決済によるご寄附申し込みフォームもございます(右下QRコードからアクセスできます)。

<https://congrant.com/project/wakayamanpoc/7170>

【運営】

認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223 FAX 073-423-8355 E-mail info@wnc.jp
【事務所不在時、電話は和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます】



和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会だより

紀の川河口周辺のまちづくりの未来

日程 12月9日(土)
内容 午前の部…まちあるき(南紀/川鉄橋、紀の川第5緑地、河西橋、有吉佐和子記念館)
午後の部…パネルディスカッション「紀の川のかまちづくりに向けて」(和歌山市民図書館2階多目的ルーム)
定員 午前・午後各30名(申し込み必要)
参加費 無料
主催 わかやま楽落会 090-9864-1344
katoku0716@outlook.jp
申し込みは右のQRコードからどうぞ。



子ども落語ワークショップ特別編

日程 12月9日(土) 13:30~15:00
場所 和歌山県立図書館・文化情報センター
内容 笑福亭呂好さんから、落語の所作・小話などを学びます
定員 小中学生と保護者20名(定員に余裕があれば大人の参加可能)
前日までにお申し込みください。
参加費 資料代500円(大人のみの参加の場合は1,000円)
主催 わかやま楽落会 090-9864-1344
katoku0716@outlook.jp

このコーナーでは、和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会に所属している NPO・ボランティア団体から提供されたイベント等の情報を不定期にお届けしています。